

関連する教科書単元

- **国語**（光村）6 学年 単元名「平和のとりでを築く」
- **社会**（東書）日本の歴史「長く続いた戦争と人々の暮らし」
- **道徳** 「生命の尊さ」「平和教育」
- **日本文化発信の拠点として：コミュニティ スクール活動**「シアトルの広島県人会との交流活動」

6 年	単元名	<b>未来が よりよくあるために</b>	4 時間
単元の目標	国語 ① 説明文「平和のとりでを築く」で筆者の伝えたいことを読み取り、戦争や平和について自ら課題を設定したりする。 ② 戦争や平和について調べ、考えを発信する事で戦争や平和についての自分の見方・考え方を広げたり深めたりする。 社会 戦争体験者から戦時下の国民の人々の生活について意欲的に聞き取り、自ら調べ、平和について考えようとする。		
日本語の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 文章構成や意見の述べ方、文末表現などに気をつけて自分の考えを表現できる。</li> <li>● 書き言葉と話し言葉のの違いに気付き、効果的な意見文やスピーチの構成を考える。</li> <li>● 聞いた事を正確にメモにとり、それを元に質問したり、わかった内容をまとめ、事実と意見を区別して書いたりする。</li> <li>● 話す内容を考え、相手の話を最後まで聞き、相手に応じた適切な話し方や態度でインタビューする事ができる。</li> </ul>		
学習課題	戦争や平和についての考えを深め、それぞれの国の立場に立って、自分の考えを発信しよう。 広島県人会の方の「平和教育」のお話を聴き、詳しく知りたいことを質問しよう。		
主な学習活動	① 国語の教材文の学習を元に、「平和」について調べたり話し合ったりして、考えを深めようとする。 ② 広島県人会の方から、戦争の体験談のビデオや、広島の人たちの平和への思いを聞き、質問や意見、感想を伝えたり、わかったことを整理して文章にまとめたり、発表したりする。		

学習活動計画

時限	学習内容	活動	留意点
1	学習課題を掴む	めあて 筆者の伝えたいことをもとに、戦争や平和について考え、話し合おう どのような戦争がおこり、人々の暮らしはどうなっていったのだろう。 ・平和について考え、自分の考えた「平和」を伝えようとする。 ・自分の考えを伝えるため、スピーチ構成や話し方を工夫して話したり、自分の意見と比べながら話し手の意見を聞いたりすることができる。 「表現の仕方」 ・事実と感想、意見は、区別して文末表現を工夫しているか確認 ・一人の発表に対して、質問や感想を述べるようにする。	『平和のとりでを築く』の学習の中で学んできたことをもとに、自分の考えを書きまとめる。 ・自分の考えを発表するための資料を整える。 ・既習事項や取り扱った資料を活用しながら、平和について自分の考えを友達に伝えている。 ・原爆ドームが世界遺産に指定されるまでに辿った年月についての太筋を確認。
2	学習課題を掴む	めあて シアトル広島県人会の方から、原爆や戦前、戦中、戦後についてお話を聞こう ゲストティーチャーとして、広島県人会に「原爆と平和教育について」の講演依頼の手紙の内容を考える。	講演依頼の手紙 ・手紙に平和への思いや考えを書き表すことで、自分の考えをもつことの大切さを意識させる。 ・国語「平和のとりでを築く」で書いた作文を添える。
	家庭学習課題	原爆投下による被害や、終戦に至る過程を調べ、質問を考えておく。	

3	学習課題を掘む 広島県人会の 「平和教育」	めあて 広島原爆の歴史について話を聞き、平和について自分の意見を伝えよう。 戦争の様子や戦時中の人々の暮らしに関心を持ち、第二次世界大戦の背景と経過や人々の生活の様子などについて聴き、平和の意義について考えを深める。	コミュニティや保護者にも知らせ、授業参観を設定する。 地元情報新聞のコミュニティ欄に、活動が掲載された。
4	学習課題 質疑応答	めあて 平和について考えたことを発表したり、詳しく知りたいことを質問したりしよう。 話す速度や音量、言葉の調子や間の取り方、相手に分かりやすい語句の選択、相手や場に応じた言葉遣いに注意して質問する。	聞き取りやすい話し方を考えさせる ★平和の象徴である「鶴」の折り紙を「平和への願いを込めて」一緒に折り上げる活動
	家庭学習課題	感想や意見と共に、広島県人会の方への御礼の手紙を書く。	